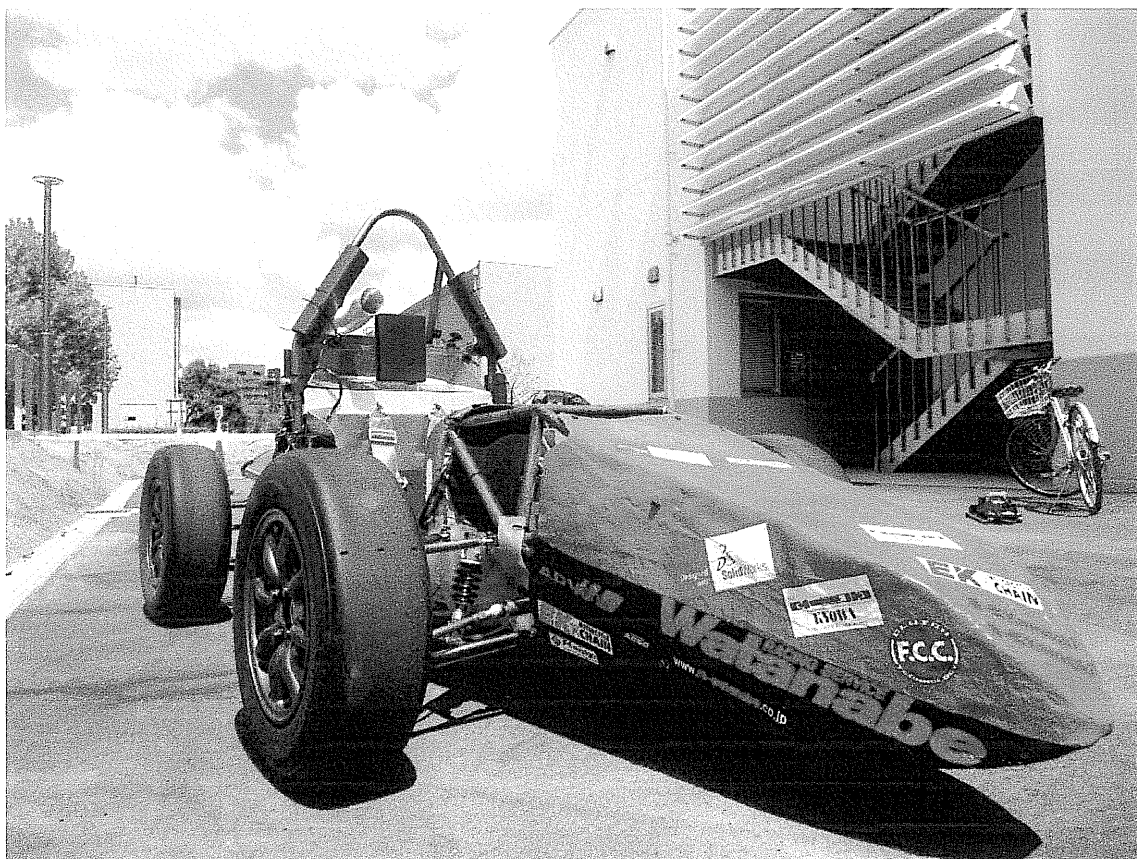


広島大学フェニックスレーシング
第8回全日本学生フォーミュラ大会参加報告書

キャプテン 北川 幸紀



広島大学フェニックスレーシングホームページ

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/fsae/index.html>

ご支援を頂いた企業・団体



A&M



MAZDA



DEVELOP YOUR ORIGINALITY THROUGH UNIVERSAL JOINTS

KYOWA JAPAN

<http://www.kyowa-uj.com>



Hiroshima



PASSION for EXCELLENCE



For New Technology Network



www.fc-design.com



1.大会報告

9月7日（大会前日）

前日の15時ごろ大学を出発し、多賀サービスエリアで途中休憩。7日の正午に会場に到着しました。その後受け付けをすませ、17時にFAとキャプテンでミーティングに参加。同時刻にデザイン審査を受けました。

9月8日（大会初日）

11時半から技術車検を受けました。1発通過とはならなかったものの、2時間程度あれば修正可能なものだったのでほっとしました。指摘箇所は以下のとおりです。

1. インテークマニホールドの固定
2. バッテリーの固定
3. ベリーバンドレーンホース追加
4. サイトチューブレベル線追加
5. 吸気口の位置
6. クラッチケーブルとカバーの干渉
7. ブレーキフルードリザーバータンクの固定
8. ブレーキキャリパーボルトのワイヤリング
9. フロントカウル先端部形状

上記の修正をしようとしたところ台風が近づいているとのことで、テントをたたみ、車両はトラックの中に入れ、午後からの作業は禁止とのことでした。この為スキッドパッドとアクセラレーションに参加することは絶望的になりました。

17時からプレゼンテーション審査を受けました。リハーサルなしだったためにプロジェクターが映らないなどドタバタしましたが、無事終わることができました。指摘された箇所は、発表者がもっと自信を持って発表するようにと資料自体はいいが根拠が不明確、統計と販売戦略との関連性が不明確とのことでした。

9月9日（大会2日目）

6時半から前日指摘された箇所の修正を行い、9時から再車検を受けました。再車検はスムーズに進み技術車検をクリアしました。ガソリンを入れることが可能になったため、給油してピットでアイドリングしたところラジエーターから漏れが見つかりました。原因は前日トラックの荷台に積むときラジエーターをぶつけてしまいクラックが入ったためと思われます。急いでホームセンターでパテを購入し応急処置をするとアイドリング状態では水漏れは

解消出来ましたが、走行時に高温高圧になった時に漏れないかとても不安でした。

その後騒音検査、チルト検査、ブレーキ検査をギリギリ通してもらいオートクロスに参加しました。ファーストドライバーのファーストラップは1分14秒、セカンドラップはスピンのため1分35秒となりました。一応タイムを残せたことに満足し、セカンドドライバーに交代。ファーストラップは1分10秒、セカンドラップは1分6秒でまずまずの結果が残せました。

9月10日（大会3日目）

この日は大会最後の種目となる耐久走行と燃費に参加しました。前日のオートクロスの結果から28番目の出走でした。耐久走行直前の練習でサスペンションがやわらかすぎてメインフープが地面にすってしまふことがわかり、耐久走行の出走待ちの時間を利用してサスペンションを硬めに調整しました。

ファーストドライバーの西川が出走して5周した頃オレンジボールが出され、一旦コースから出て技術審査を受けた後再出走しました。これはシートベルトのあまりが車外に飛び出たため危険と判断されたためです。しかしその後は順調に走り切り平均ラップタイムは1分9秒でまずまずのものでした。セカンドドライバーの平に代わってから3周半した頃ドライブシャフトが抜けて駆動が掛からなくなりリアタイヤしました。

ピットに戻ってからはマツダの方や京都大学のFAの方が見学に来られ、車両の不備のある点を数多く指摘して頂きました。特に「君たちの夢と同時に仲間も乗せているんだ」という京都大学のFAの言葉は、走らせることに夢中でドライバーの安全面を二の次にしていた私にとっては反省することしきりでした。

9月11日（大会4日目）

当チームはすべての競技を終えていたため、後輩には来年につながるよう他チームの車両見学に行くよう指示し、私はピットに残って見学に来た方の対応をしていました。

2.大会成績

広島大学フェニックスレーシングの第8回大会成績は以下のとおりです.

Cost Score	-100.0
Presentation Score	18.75
Design Score	25
Acceleration Score	0
Skid Pad Score	0
Autocross Score	75.43
Endurance – Economy Score	0
Total Score	19.18 (総合 62 位)

3.助成金使途内容

OMP FIRST 2 レーシングスーツ FIA8856-2000 公認	52864 円
グローブ 3 着、フェイスマスク 3 着、シューズ 3 足、スーツ 1 着	163400 円

合計 216264 円

4.スポンサーの皆様へ

本年は何の実績もない私たちに対し多くのご支援を頂きまして誠にありがとうございます。私たちが車両を製作し、大会に参加できるのも皆様のご協力あってのものだとチーム一同深く感謝しております。それだけに総合62位という不甲斐ない結果しか報告できず、申し訳ない気持ちで一杯です。

本年の車両は初製作で、エンジンが掛からないところから何十というトラブルを乗り越えて造り上げたものだけに、シェイクダウンしたときは本当に嬉しく、エンデュランスリタイアしたときは本当に悔しかったです。本年は62位という結果に終わりましたが、来年は25位以内を目指して頑張ります。

引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。